

島根県でコミヤマスミレを初確認

柳 浦 正 夫*・井 上 雅 仁**・柴 田 一 樹***
・津 島 辰 雄****・山 田 明*****

First Record of *Viola maximowicziana* Makino from Shimane Prefecture

Masao Yagiura, Masahito Inoue, Kazuki Shibata,
Tatsuo Tsushima and Akira Yamada

1. はじめに

コミヤマスミレ *Viola maximowicziana* Makino はスミレ科スミレ属の植物で、「改訂新版日本の野生植物図鑑3」(大橋ら, 2016)によれば、「低山～山地の暗い林床に生え、高さ4～10cmの無茎種で、葉が平開し、葉身の上面は浅緑色～濃緑色で、ときに紫色や赤色をおび、しばしば脈に沿って白斑が入り、下面は紫色を帯びる。葉は楕円状卵形、先端が鋭頭～鈍頭。基部は心形、長さは2～4cm、低平な鋸歯があり、葉柄は長さ2～5cm。萼片は広披針形で、付属体は全縁。花弁は長さ8-10mm。側弁の基部は無毛。唇弁は他の花弁より明らかに短い。花柱は虫頭系(カマキリの頭形)で上部両翼の左右の張り出しが弱い。本州(福島県以西)～九州に分布する。」等の記述が見られる。

この度、島根県でも本種の生育を確認したのでここに報告する。

2. 発見の経緯

昨年2021年7月24日に島根県鹿足郡吉賀町柿木村

鈴の大谷を訪れた際に確認した。谷奥の川沿いの斜面に群生しており、時期が遅かったので花は無かったが朔果の種子を飛ばした後のものが見られた。枚村(2005, 2006)と「島根県大百科事典上・下巻」の丸山巖の記述にないことから島根県初記録と判断して報告することにした。

3. 近県における分布状況

山口県において「山口県産高等植物目録」(岡ら, 2000)では稀とあり、「山口県植物誌」(岡ら, 2016)においては、阿武郡須佐、萩市見島、佐波郡滑山国有林、都濃郡鹿野の採集品が紹介され、やや稀とある。広島県においては、「広島県植物誌」で「島嶼部から沿岸部に稀に分布。宮島では海岸近くから弥山の頂上付近まで広く分布するが、小型である。」とし、呉市白糸の滝、廿日市市宮内、宮島の標本が紹介されている。これから山口県では北部から東部にかけて、広島県では西部の沿岸域と島嶼部での生育が報告されている。この山口県と広島県の分布が離れているので、文献を調べてみると「原色日本のスミレ」(浜, 1975)で2つの分布の中間に位置する吉和町付近のプロットが

* 松江市立皆美が丘女子高等学校、〒690-0835 島根県松江市西尾町540番地1

Matsue Municipal Minamigaoka Girls' High School, 540-1, Nisio-cho, Matsue, Shimane, 690-0835, Japan

** 島根県立三瓶自然館、〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根1121-8

The Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe (Sahimel), 1121-8 Tane, Sanbe-cho, Ohda, Shimane, 694-0003, Japan

*** 島根植物研究会、〒699-0110 島根県松江市東出雲町錦新町6-1-9-201

Shimane Plant Research Group, 6-1-9-201, Nishiki-shin-machi, Higashi-izumo-cho, Matsue, Shimane, 699-0110, Japan

**** 島根植物研究会、〒698-0021 島根県益田市幸町11-68

Shimane Plant Research Group, 11-68, Miyuki-cho, Masuda, Shimane, 698-0021, Japan

***** 島根植物研究会、〒699-1702 島根県仁多郡出雲町郡78

Shimane Plant Research Group, 78, Kori, Okuizumo-cho, Nita-gun, Shimane, 699-1702, Japan

あった。これにより山口県の北部から東部、島根県西南部、そして広島県西部の奥地から沿岸域さらに島嶼部と産地が連続しているのでまとまった分布域として考えることができた。またこの分布域は、九州北部や四国の西部につながる分布域につながるものとも考えることもできる。



写真 生育状況

4. さ い ご に

中国地方西部では山口県と広島県には分布が知られていたが、その分布につながる形で島根県での分布が初確認できた。

今回、コミヤマスマミレの山口県の分布状況を御教授いただいた真崎 久様、同様に広島県での状況と関わる文献の紹介をいただいた吉野由紀夫様にはこの場を借りて深謝いたします。

引用文献

- 大橋広好・門田裕一・木原 浩・邑田 仁・米倉浩司(2016)「改訂新版 日本の野生植物3 バラ科～センダン科」338pp. 平凡社、東京。
- 岡 国夫(ほか)(1972)山口県植物誌. 607pp. 山口県植物誌刊行会、山口。
- 岡 国夫・勝本 謙・見明長門・三宅貞敏・真崎 博(2000)山口県産高等植物目録. 92pp. 山口県植物研究会、山口。島根県大百科事典編集委員会(1982a)「島根県大百科事典上巻」1088pp. 索引71pp. 山陰中央新報社、島根
- 島根県大百科事典編集委員会(1982b)島根県大百科事典下巻. 1024pp. 索引66pp. 山陰中央新報社、島根。
- 杵村喜則(2005)島根県の種子植物相。島根県立三瓶自然館研究報告 3: 1-49.
- 杵村喜則(2006)島根県の種子植物相(補遺)。島根県立三瓶自然館研究報告 4: 41-43.
- 広島大学理学部附属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会(1997)広島県植物誌. 832pp. 中国新聞社、広島。
- 浜 栄助(1975)原色日本のスマミレ. 207pp. 誠文堂新光社、東京。